

Prored Partners

株式会社プロレド・パートナーズ
東京証券取引所プライム市場（証券コード：7034）

2023年10月期通期決算 説明資料

thinkOut

2023.12

- | | |
|---------------------------|-----|
| 1. 2023年10月期通期決算概要 | P3 |
| 2. 2024年10月期通期業績予想 | P10 |
| 3. プロサインの状況 | P13 |

Appendix

ブルパス・キャピタルの進捗状況	P16
------------------------	-----

参考資料	P19
-------------	-----

1. 2023年10月期通期決算概要

1. 2023年10月期通期決算概要

業績ハイライト

1. コンサルティング

- 成果報酬型コンサルは、インフレの影響を織り込み済みであったため計画どおり進捗
- 固定報酬型コンサルは、バックオフィス業務のBPR支援やプロジェクト実行支援の領域においてサービスが立ち上がり計画以上の成長

2. プロサイン

- BSM事業の譲渡を実行。プロサインCRE（店舗情報管理）サービスは当社にて開発および運営を継続

3. 子会社

- ナレッジリーン：社名変更および本社移転を実施。売上高および営業利益は計画以上の成長
- ブルパス：投資案件の株式譲渡を実行し、投資事業組合運用益を計上。純利益に寄与

連結売上高

2,715 百万円

(前年同期比 -0.1%)

連結営業利益

-372 百万円

(前年同期 -148百万円)

(親会社株主に帰属する)純利益

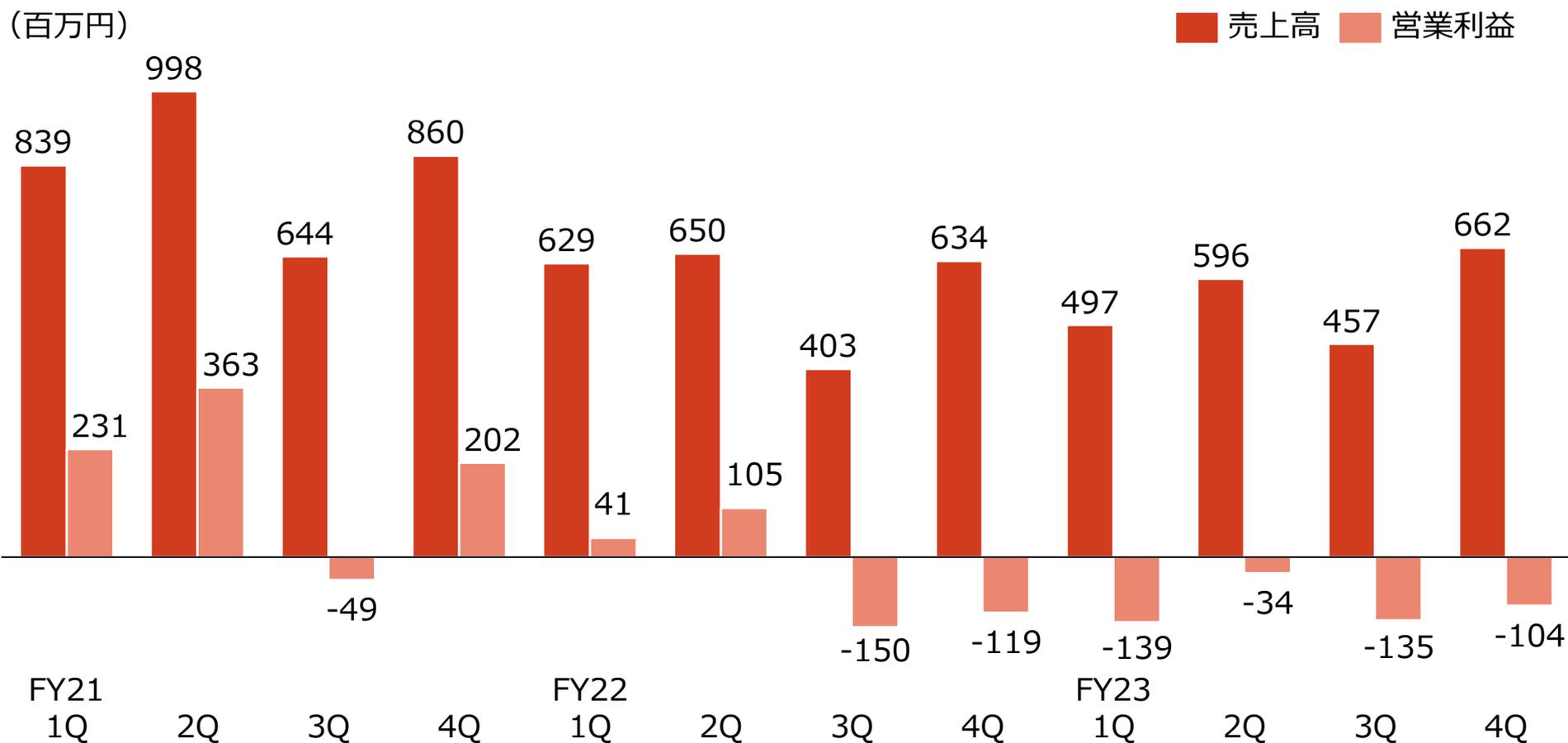
818 百万円

(前年同期 -871百万円)

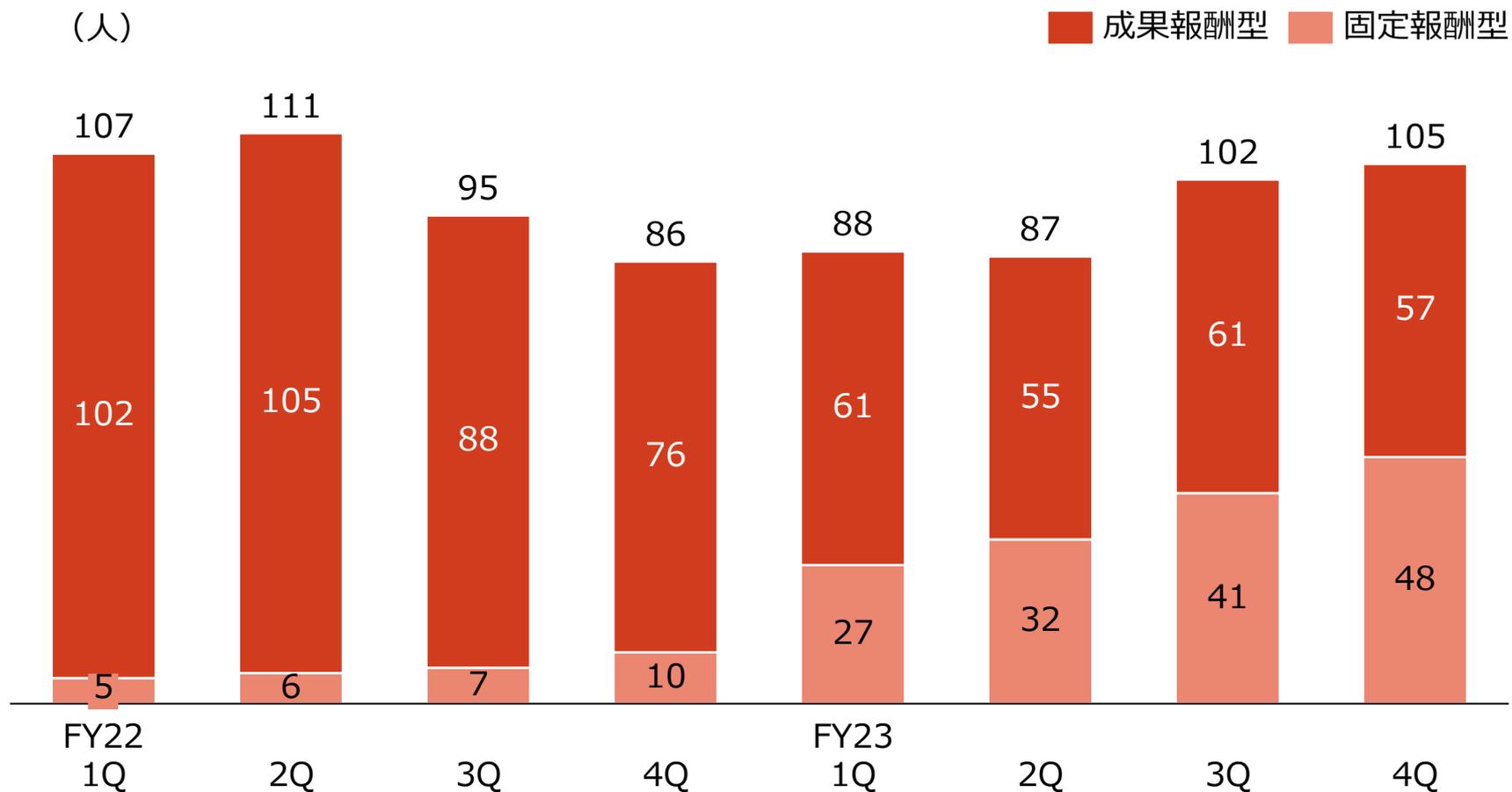
業績概要

(単位：百万円)	連結累計		
	2022年10月期 実績	2023年10月期 実績	対前年同期比 増減率 (%)
売上高	2,718	2,715	-0.1%
売上原価	1,358	1,952	43.7%
人件費	811	1,147	41.4%
その他	546	804	47.1%
売上総利益	1,359	763	-43.9%
粗利率	50.0%	28.1%	
販売費及び一般管理費	1,508	1,135	-24.7%
人件費	703	507	-27.9%
その他	804	627	-22.0%
営業利益	-148	-372	—
営業利益率	-5.5%	-13.7%	
経常利益	-209	4,378	—
(親会社株主に帰属する)純利益	-871	818	—

プロレド単体 | 売上高 営業利益 四半期推移



プロレド単体 | コンサルタント人数 四半期推移



*各四半期末時点の在籍人数

プロレド単体 | サービスライン

- 徹底的な現場主義に基づき、コストマネジメントを中心とした幅広いテーマで実行支援サービスを提供

コンサルティング

SaaS

テーマ

プロジェクト例

成果報酬

コストマネジメント



間接材・物流コストの削減

コストマネジメント



調達組織立ち上げに伴うルール/ツール整備
サプライチェーン最適化戦略立案/実行支援
バックオフィス業務BPR支援

売上拡大



新規事業開発支援
リード獲得/受注率向上支援

M&A/DD/PMI



ビジネス/財務デューデリジェンス
経営人材 (CXO) 派遣によるハンズオン支援

DX推進



システム導入支援
PMOによるプロジェクト実行支援

人財育成



生成AIを活用したKei-Gan (慧眼) による
実践的な幹部候補人材育成

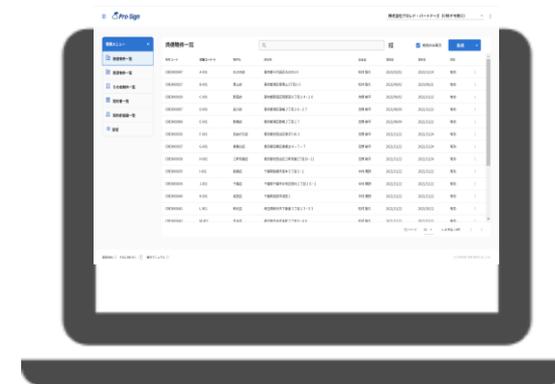
脱炭素化



脱炭素化戦略立案/実行支援

固定報酬

 Pro-Sign CRE (店舗情報管理)



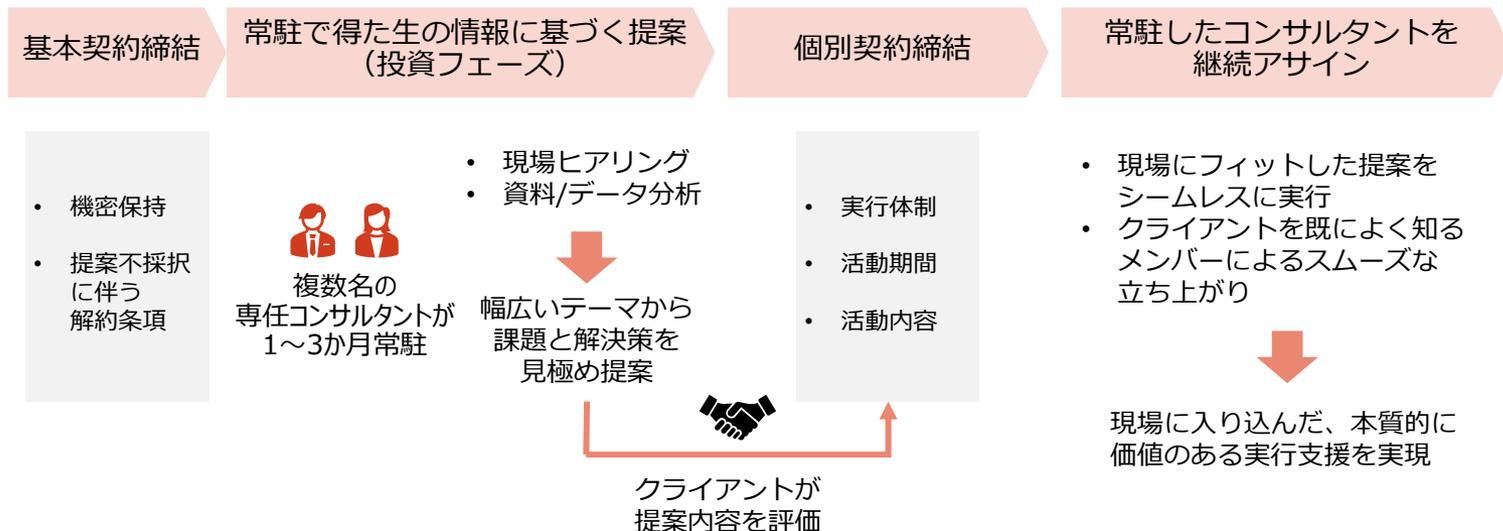
1. 2023年10月期通期決算概要

プロレド単体 | 固定報酬型コンサルの新たなモデル

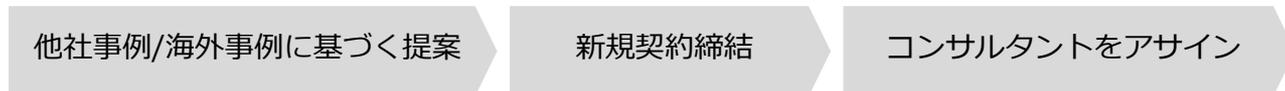
- 「価値=対価」を体現するべく、ストラテジー&ハンズオン事業と称して、有償契約の前に「投資フェーズ」を設ける新たなモデルを確立



ストラテジー
&
ハンズオン事業



一般的な
ファーム



2. 2024年10月期通期業績予想

2. 2024年10月期通期業績予想

2024年10月期通期業績予想

- プロレド：
成果報酬型コンサルは効率化、固定報酬型コンサルは更なる拡大を企図するため人材採用に予算を投下
売上高2,035百万円（増減率-8.0%）、営業利益-929百万円（増減額-516百万円）の予想とした
- ナレッジ：
カーボンゼロに係る案件増を想定する一方で更なる成長のため人材採用に予算を投下
売上高510百万円（増減率-0.1%）、営業利益52百万円（増減率-36.1%）の予想とした

2024年10月期通期業績予想

(単位：百万円)	2023年10月期 実績	2024年10月期 予想	増減額	増減率 (%)
売上高	2,715	2,546	-168	-6.2
営業利益	-372	-917	-545	-

- 業績予想について
 - ✓ のれん償却やブルパスに係る販管費が一部計上されているため、プロレドとナレッジの合算数値とは差異があります
 - ✓ 経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益については、当社グループが出資している投資事業有限責任組合の運用による損益の発生時期および金額の合理的な予測が困難であることを踏まえ、予想は非開示としております
- IR方針について
 - ✓ 当社ではファンド運営に支障が出ないようブルパスに関する情報開示は、法定開示のみとしております
 - ✓ 当社では四半期開示制度の見直しに関する動向を踏まえ、決算説明資料開示および決算説明会開催を半期毎に変更させていただきます

2. 2024年10月期通期業績予想

プロレド単体 | 2024年10月期通期業績予想

- 成果報酬型コンサル：
エネルギーコストの急増やインフレ進行による影響は未だ大きく、当面は続くものと想定し減収見込み。
継続的な人員配置の見直しを含む効率化を推進
- 固定報酬型コンサル：
特にコストマネジメント領域とDX推進領域における拡大を企図しており、増収見込み。今後も注力すべき領域と考え、成果報酬型コンサルからの人員配置転換や採用による組織拡大を推進
- SaaS：プロサインCREの機能拡充状況を鑑みて価格改定を予定しており、増収見込み

2024年10月期通期業績予想（単体）

(単位：百万円)	2023年10月期 実績	2024年10月期 予想	増減額	増減率 (%)
成果報酬型コンサル	1,492	1,096	-396	-26.5
固定報酬型コンサル	697	869	171	24.6
SaaS	21	70	48	223.0
合計	2,211	2,035	-176	-8.0

- プライムの上場維持基準について
当社では2023年3月31日付「上場維持基準への適合に向けた計画の更新」において、2030年10月期までに基準を充足する旨開示しております。経過措置の取り扱いでは、例外として2026年3月以後最初に到来する基準日を超える期限の計画を開示している会社は、計画期限における適合状況を確認するまで監理銘柄指定が継続されるため、仮に2026年10月期までに基準を充足できずとも上場廃止となることはございません。

3. プロサインの状況

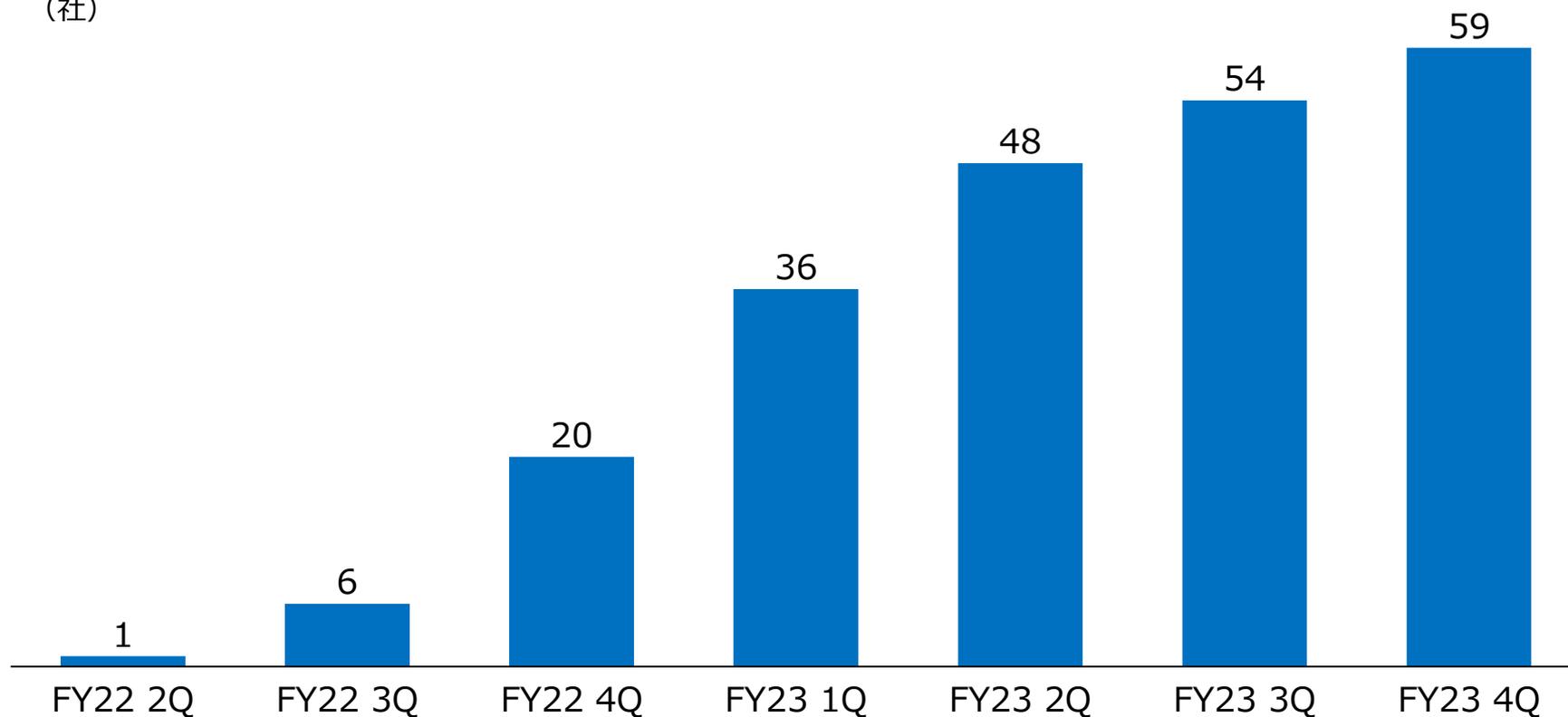
3. プロサインの状況

プロサイン | 課金社数に関するアップデート

- BSMは事業譲渡を実行し、3Qにおいて特別利益を計上。CREは当社にて開発および運営を継続
- 当期末時点において、CREは59社へ課金中

課金社数

(社)



CRE：賃貸借契約書管理（店舗情報管理）サービスのことを指します

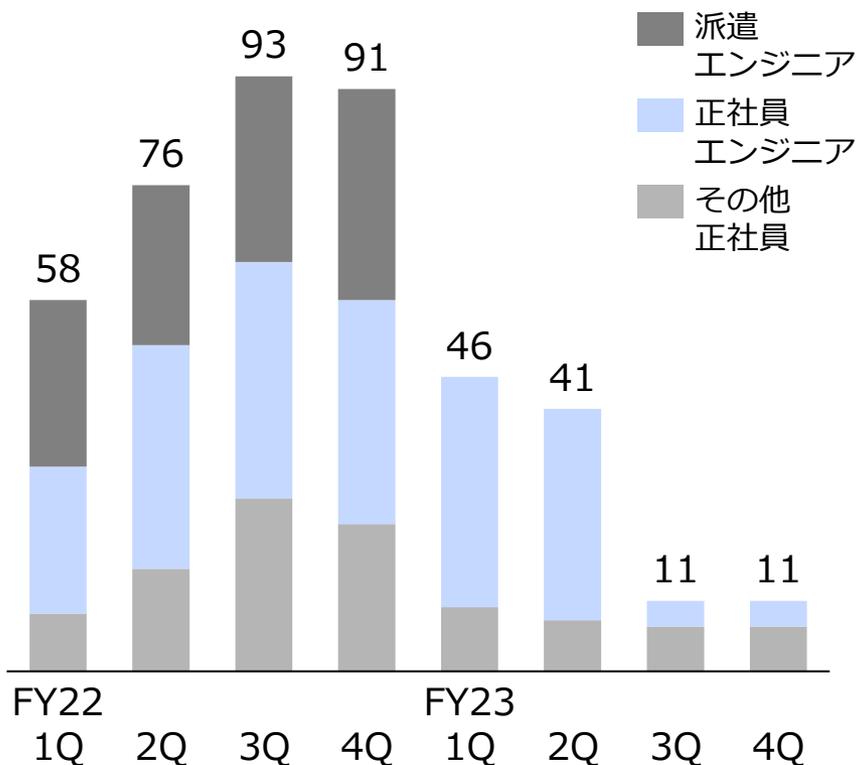
3. プロサインの状況

プロサイン | 人員数および開発関連費用の状況

- BSMの事業譲渡により、3Q以降の人員数はCREに所属する人員数のみ
- 来期以降プロサインに係る費用は、年間120百万円程度を想定

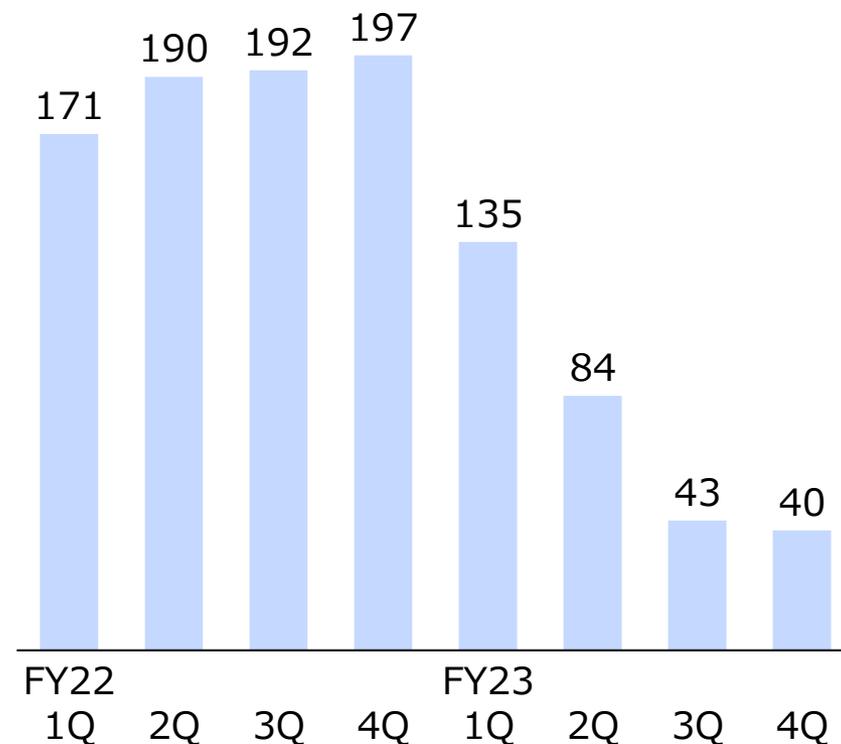
人員数（外部委託先の人員数除く）

(人)



開発関連費用

(百万円)



Appendix

ブルパス・キャピタルの進捗状況

ポートフォリオ



- 高六商事は、着色/コンパウンド樹脂を生産するメーカー機能や独自の技術開発機能を強みに、プラスチックの専門商社として国内トップクラスの売上高を誇る



- タカプラリサイクルは、廃材の回収から再資源化、物質改良や高機能化まで一括で取り扱う独自のリサイクルシステムを有しており、多くの大手企業や官公庁との取引基盤を構築している。また、昨今はSDGsへの取り組みとしてリサイクルが注目されており、継続的に成長している



- 主に業務用の美容脱毛機器、痩身機、家庭用脱毛機器を製造/販売しており、深い顧客理解に基づく競合優位性を有した製品力と他社には無い自前の集客チームによってシェアを拡大している



- 患者優先の医療を目指して、国際医学交流と教育を支えるための収益事業を営む法人として1990年に設立
- 設立以来、24時間電話医療相談サービスや被保険者が海外で受けた治療内容を確認する海外保険調査サービス等を順次提供し、2006年からは健康食品/サプリメントの販売を開始。国内大手ドラッグストアを中心に販売され、中国においても高い知名度とブランド力を誇る



- 1997年創業のアパレルを中心とした海外ブランドや国内ブランドの販売代行業務を担う企業
- 特に海外ブランドが地理的ナレッジを有さない地方部のアウトレットモール出店において強みを有し、創業以来業界を牽引する企業として高いシェアを占める。また、昨今はアパレル以外のコスメ/スイーツ系の販売代行業務の請負も開始し、継続的に成長している

*本スライドでは、公表可能な案件のみを開示しております

ポートフォリオ



- 1913年に創業し、主に東日本エリアを中心として、公共/民間土木工事の現場で使用される土木建築用資機材の販売・施工や工場で使用される産業資機材の販売を担う商社
- 幅広い商品ラインナップと高い営業力によりゼネコン等からの信頼を集め、東日本エリアにおいて高いシェアを確立。防災・災害対応の観点でインフラ基盤を支えるという重要な役割を担う



- 「八百心」「ビバーチェ」の屋号にて、首都圏近郊の生鮮食品スーパーマーケットやディスカウントストア内を中心に約30店舗を展開する青果物販売のコンセッションリー・チェーン

MURA

- 大手オンラインショッピングモールにて、MURA ブランドを冠した財布・バッグなどの革小物製品を企画・販売している D2C 企業



- 「amie」ブランドのヘアサロンを中心に、首都圏近郊にて直営店約50店舗を展開する業務委託型の美容室チェーン

Ceno.Company.

- 渋谷発の祖業ブランドである VANQUISH、原宿の旗艦店を発信拠点として、写真によるSNS コミュニケーション時代を象徴するストリートファッションブランドである #FR2 などの複数ブランドを展開するファッションアパレル企業



- 大手メーカーの金型内製部門や、金型専門メーカー等向けに、「Dr.工程」ブランドにて生産管理システム・工程管理システム・生産管理スケジューラの開発・販売・保守を提供する業界トップシェアのソフトウェアベンダー

*本スライドでは、公表可能な案件のみを開示しております

Appendix

參考資料

会社概要

会社名	株式会社プロレド・パートナーズ Prored Partners CO.,LTD.
証券コード	7034 (東証プライム市場)
代表取締役	佐谷 進
創業	2009年12月 (設立 2008年4月)
決算期	10月
事業内容	経営コンサルティング、環境コンサルティング、PEファンド
従業員数	167名 (2023年10月31日現在)
本社所在地	東京都港区芝公園1丁目1-1 住友不動産御成門タワー7階
グループ会社	株式会社ナレッジグリーン、株式会社ブルパス・キャピタル (PEファンド)

連結貸借対照表

(単位：百万円)	連結累計		
	2022年10月期 実績	2023年10月期 実績	対前年同期比 増減率 (%)
総資産	9,322	11,978	28.5%
流動資産	5,536	6,172	11.5%
うち現金・預金	4,729	5,404	14.3%
固定資産	3,786	5,805	53.3%
負債	1,802	1,911	6.0%
流動負債	1,012	920	-9.1%
固定負債	790	991	25.3%
純資産	7,519	10,066	33.9%
株主資本	5,168	6,047	17.0%
非支配株主持分	2,351	4,019	70.9%

本資料の取り扱いについて

- 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものであり、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は様々な要因により、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。
- 本資料には、監査法人による監査を受けていない過去の財務諸表または計算書類に基づかない管理数値が含まれています。
- 本資料の日付以降の事象および状況の変動があった場合にも、本資料の記述を更新または改訂する予定はありません。
- 本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、合理性等について当社は独自の検証を行っておらず、またこれを保証するものではありません。



Prored Partners

プロフェッショナル Pro + red 情熱の赤